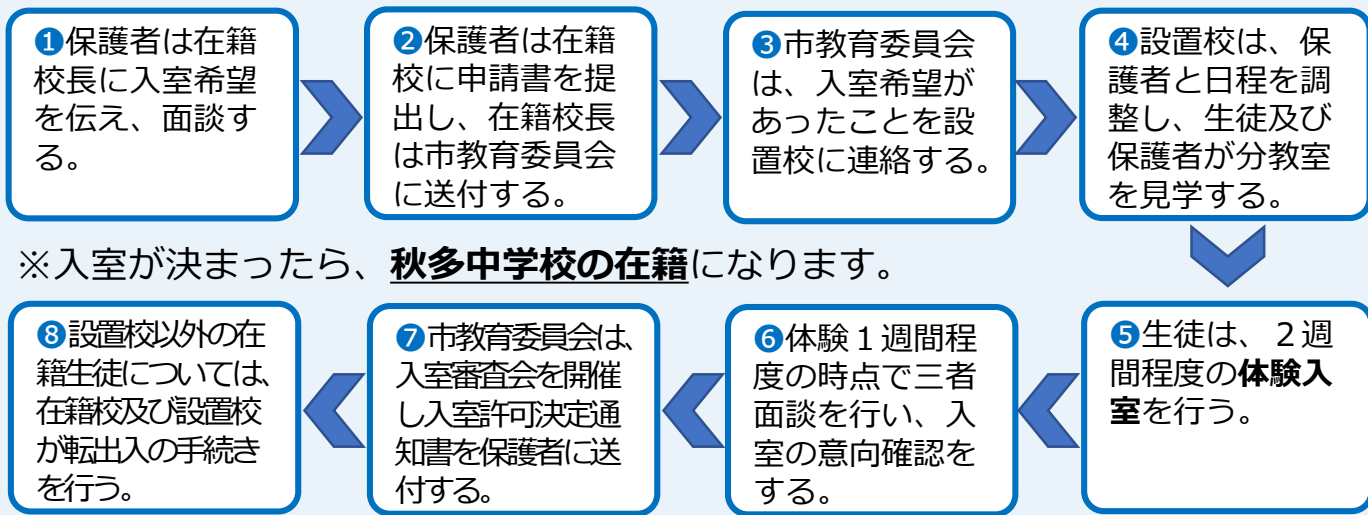


「るのR」の入室までの流れは？

体験入室は1日1時間以上参加し、2週間程度実施する（連続する必要はない）。



「るのR」のQ&A

Q 対象となるのはどのような生徒ですか？

A 年間30日以上欠席し、何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しない、あるいは、したくてもできない状況にある生徒や断続的な不登校又は不登校の傾向が見られる生徒が対象です。

Q 入室審査の条件はどんなものですか？

A 以下の内容が条件となります。

- ・ 体験期間中、オンライン対応も含めおおよそ6割以上参加していること（ここでいう「参加」とは、1日のうち1時間でも参加できた場合）
- ・ 生徒、保護者ともに分教室への入室に同意していること
- ・ 生徒が通学に対して意欲的であり、学習に取り組むことができること
- ・ 原則、自力で通学が可能なおこと

最終的には上記の条件を満たし、入室審査会で許可されたら正式入室となります。

Q 標準服はどうなりますか？

A 以前の在籍校の標準服を着用してもよいですし、秋多中学校の標準服を購入しても構いません。節度ある服装を心掛けてください。

Q 設置校の通常の学級の授業、学校行事、部活動に参加することは可能ですか？

A 希望すれば可能です。ただし、設置校（秋多中学校）校長の許可が必要ですので、分教室の教員と相談しながら進めてください。

Q 元の在籍校に戻ることは可能ですか？

A 可能です。その際は、保護者が設置校（秋多中学校）の校長に申し出て面談を行い、退室届を提出し、退室審査会で認められた場合は、在籍校に戻ることができます。また、在籍校に戻る転出入の手続きを行います。

令和6年4月開設 チャレンジクラス「東京型不登校特例校（校内分教室）」

通称「るのR」

「ルノール」
と読むよ!!



- * 不登校生徒を対象とし、教職員定数配当基準に基づいた教員を配置する学級の総称
- * 令和6年4月、東京都教育委員会が都内公立中学校10校に設置

不登校生徒が安心して学校生活を送ることができるようなゆとりある生活時程を実現し、実態に応じた支援を行います。

支援のコンセプト

Relearning

分かる

個別・グループ別
学習による学び直し
指導方法や
指導体制の工夫改善

学習内容の定着

Resilience

整える

ゆとりある生活時程
生活リズムや
心身の状況の回復

登校日数の増加

Relationship

つながる

個別支援計画の作成
関係機関との連携

学校内外の機関
等による相談・指
導等を受けていな
い生徒の解消



チャレンジクラス「るのR」を開設する
あきる野市立秋多中学校の校舎

「るのR」とは…
年間30日以上欠席し、何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しない、あるいは、したくてもできない状況にある生徒や断続的な不登校又は不登校の傾向が見られる生徒を対象とした教室です。

「るのR」での学習は？

Relearning 「ゆとりある生活時程」

(時間割例)

通常の学級	分教室	生活時程	月	火	水	木	金
		～9:30	登校				
1校時		9:30～9:35	朝の学級活動				
		9:35～9:45	リフレッシュタイム(軽運動)				
2校時	1校時	9:50～10:40	学活	社会	道徳	英語	保体
3校時	2校時	10:50～11:40	国語	英語	理科	理科	数学
4校時	3校時	11:50～12:40	技術/家庭	数学	保体	国語	社会
		12:50～13:10	給食				
		13:10～13:30	昼休み				
5校時	4校時	13:35～14:25	総合	音楽		美術	総合
		14:30～14:40	清掃				
6校時		14:40～14:50	帰りの学級活動				
		15:00	下校				

◆通常の学級では、1日6時間が基本ですが、**るのR** (チャレンジクラス)では、1日4時間のゆとりある生活時程で秋多中学校の年間指導計画に基づいて学習を進めます。朝は、心身の調子を整える「リフレッシュタイム」で、軽運動やソーシャルスキルトレーニングを行います。また、通常の学級は週29コマが基本ですが、分教室は週19コマで学習を進めます。

学び直しの可能な1単位時間の授業構成(例)

(1単位時間の展開例)

前半20分

【個別(学び直し)の時間】

◇個別で追究したり、学び直したりする補充の学習

後半30分

【協働(学び合い)の時間】

◇前半で学んだ内容を活用した他の生徒と協働的な学び

※一人1台タブレット等ICTを積極的に活用

◆通常の学級では1単位時間50分の中で、学習を進めます。**るのR**では、前半20分を【個別(学び直し)の時間】として、個別の課題に基づいた補充の学習を行い、後半30分は【協働(学び合い)の時間】として、前半で学んだ内容を活用して、他の生徒と協働的に学んでいきます。

「るのR」での生活や支援は？

Resilience

安心・安全で快適な生活空間と学習スペース



パーソナル
ラーニングエリア

タブレット端末や書籍等を使って調べ学習や学び直しができます。



リラクゼーション
エリア

気持ちのコントロールや、クールダウンを行うことができます。

学びたい
方法を選択



コラボレーション
エリア

教え合ったり、協力し合ったりして協働的に学ぶことができます。

心身の状況に
応じて選択

体験的な学習（例）



調理実習



音楽鑑賞

プログラミング

ICTを活用した学習



登校が難しい場合は、オンライン会議システムを活用して授業に参加することができます。

Relationship

個別支援計画を基にしたアセスメントと生徒・保護者との定期的な面談

情報共有
統一した支援

支援会議
協力体制の構築

校内研修
適切な対応



養護教諭



校内分教室教員



教科担任

スクール
カウンセラー (SC)

スクールソーシャル
ワーカー (SSW)

電話連絡



面談



家庭訪問



個別指導

学校は、「個別支援計画」を作成し、その計画を基に支援方針を立てていきます。「個別支援計画」を活用し、生徒や保護者と定期的に面談等を行い、生徒の学びを支援していきます。